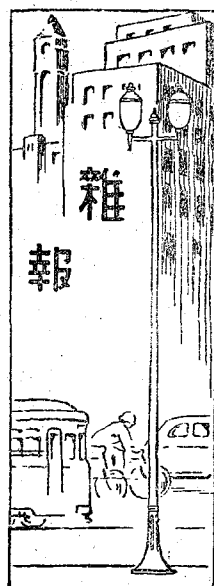


松尾 技師

以 上



◎内務省土木試験所談話會(第一八二回)

時日 昭和十三年十二月九日(第二金曜)午後一時半より
場所 東京市王子區志茂町三丁目

内務省土木試験所赤羽分所

一、鴨川床固堰堤に關する模型實驗中間報告並に實驗

佐藤 清 一

二、百間川分流點に關する模型實驗中間報告並に實驗

横田 技師

三、河口の漂砂に關する實驗中間報告並に實驗

本間助教授

四、安東港に關する模型實驗報告並に實驗

◎滿洲土木研究會主催土木講習會

昭和十四年一月十八日より第四回土木講習會が滿洲新京に於て開催さるる其の趣意書及プログラムは左の通り

第四回土木講習會開催趣意書

吾滿洲土木研究會は會員の絶へざる奮闘と努力とにより創設後未だ三年有半にして會員千名を突破するの飛躍をなし毎月講演會を開催或は斯界權威者の來滿を機とし講演を煩し又は座談會を催し智識の交換と親睦を圖る他毎月機關誌「建設」を發行して會員の研究發表の機關となし且適切なる資料を掲載して研鑽の資に共し其の内容を充實する等着々として本會の使命貫徹に努めつつあり。

而して本會事業の一端として毎年開催する土木講習會は斯界關係各方面の御賛同と全滿各地土木技術者諸賢の熱心なる參會を得て回を重ねるに従ひ愈々其の眞價を認識され非常なる盛會を極め斯界に貢獻するところ多大なりと確信

す。

然れども大陸建設事業は益々活潑にして技術者の研鑽活躍を要望するの秋、本會の使命亦重且大なりと痛感す。此の時土木行政技術全般に互る第四回土木講習會を開催するは眞に時宜を得たるものと信ずるものなり。願くば全滿土木技術者各位多數の參加を得て本講習會をして益々有意義たらしめんことを希望して止まざるなり。

康德五年十一月五日

滿洲土木研究會

第四回土木講習會「プログラム」

主催 滿洲土木研究會

期日 康德六年一月十八日—二十二日五日間

會場 新京記念公會堂

第一日 一月十八日（水）

會員着席（二〇〇〇）

開會之挨拶

祝 辭

報 華

會 長 直木倫太郎

交通部大臣 李 紹 庚

産業部大臣 呂 榮 三

總 官 星 野 直 樹

新京特別市副市長 關 屋 悌 藏

時局講話 關 東 軍（未 定）

中 食（一三、〇〇—一四、〇〇）

北支ノ土木事業（一四、〇〇—一五、三〇）

北京建設總署 立 神 弘 洋

滿洲河川工事ノ特異性（一五、三〇—一七、〇〇）

交 通 部 橋 內 德 治

第二日 一月十九日（木）

堰堤コンクリートノ施工（一〇、〇〇—一一、三〇）

水力電氣建設局 空 閑 德 平

滿洲道路ノ施工法（一一、三〇—一二、〇〇）

交 通 部 津 田 賢 次

中 食

河 川 法（一四、〇〇—一五、〇〇）

交 通 部 矢 野 道

土木工事取締規則(一五、〇〇——一六、〇〇)

朝鮮ノ砂防(一一、三〇——一三、〇〇)

交通部 勝目憲民

朝鮮總督府 兩見正雄

飛行場其ノ他(一六、〇〇——一七、〇〇)

中 食(一三、〇〇——一四、〇〇)

交通部 大石義郎

關門道路隧道(一四、〇〇——一五、〇〇)

第三日 一月二十日(金)

内務省下關土木出張所 中尾光信

滿洲ノ氣象(一〇、〇〇——一一、三〇)

閉會之挨拶(一五、三〇——一五、四〇)

中央觀象臺 土佐林忠夫

會 長 直木倫太郎

日本ノ河川改修(一一、三〇——一三、〇〇)

修了證書授與式

内務省東京土木出張所 安藝峻一

記念寫眞撮影

瀝青乳劑(一四、〇〇——一五、〇〇)

土木工事ニ關スル映畫

東京市土木局 山本享

於記念公會堂

地質學上ヨリ見たル滿洲ノ濕地及ソノ對策

第五日 一月二十二日(日)

(一五、三〇——一七、〇〇)

見 學(新京市内及新京國際飛行場)

滿鐵調查部 新帶國太郎

○藤山雷太氏逝去 評議員貴族院議員藤山雷太氏は舊臘十九日逝去享年七十六

第四日 一月二十一日(土)

新京ノ上下水道(一〇、〇〇——一一、三〇)

○牧彦七氏令息の訃 理事牧彦七氏三男利彦氏は昨十二月四日死去せられた。

新京特別市公署 重任文男

◎近刊圖書雜誌

○日本都市年鑑昭和十四年用

財團法人東京市政調查會の編纂にして昭和五年創刊以來八卷を重ね毎年編纂毎に過去の經驗に徴し時代の要求を慮り内容の充實改善に意を用ゐ今時特に支那事變下に於ける本邦都市の活動と市民生活の實相を明らかにしむることに努め一般世の期待に副はんことを懸念し編輯したるもの苟くも都市行政に關係あるものは勿論些かなりとも地方自治に關心をもつ者にとりては必ず座右に備ふべき必要なる文獻である。

○土木試験所報告（第四三號）

（藤井眞透氏）路線路面の經濟的價值に關する試験（一）
西川榮三氏山田耕之助氏混成タールの性質に及ぼす氣象作用の影響特に薄層の場合に於ける性質變化、福島彌六氏新京濱國道多摩川架橋地點に於ける河水の水質化學試験、島田八郎氏鋪裝用アスファルトの溫度傳導率

に關する試験）

○清水港修築工事誌（内務省横濱土木出張所）

（清水港の沿革、地理的状況、現在の設備、貿易及船舶後方地域の情勢、臨港地帯の現状と將來、修築工事等）

○技術日本（第一九〇第一九一號）

（東京朝日新聞（一三、九、一九）社會機構と技術（社説）に對する駁論）

○石油時報（十二月號）

○警察協會雜誌（四六三號）

○土木學會誌（第二四卷、第一一、一二號）

（大河戸宗治氏及び新井榮吉氏北支土木事業に就て）

○清和（第五卷一〇號）

○乗合自動車（第二二卷一一號）

○港灣（第二六卷一二號）

（笹生亨氏長期建設に對意すべき港灣政策に就て）

○駿工（第一四卷一一號）

○工事の友（第二一〇輯）

(小野殖氏『フイーレンデル構橋の意力算定に關する

一方法)

○三田學會雜誌(第三二卷一一、一二號)

○セメントコンクリート道路(五四號)

(久野重一郎氏『第八回國際道路會議報告並に歐米視談)

○觀光聯盟情報(第二卷一二號)

○水利と土木(第一一卷一二號)

○セメント界彙報(第三六九號)

○建設(第三卷七號)

(武藤吉次氏『新京の交通機關に就て、三浦壽氏『第八

回道路會議の一般報告)

○法律時報(第一〇卷一二號)

○自警(一二月號)

○東大陸(一二月號)

○都市問題(第二七卷六號)

○汎交通(一二月號)

(最近の米國都市交通界に就て)

○電氣通信學會雜誌(第一八八—一八九號)

○土木(第四七號)

(富山支部特輯號として編輯した、水野鉦三氏『我等を
國家官吏とせよ、小西民之助氏『富山縣の道路愛護概況、
近藤鍵武、能登尙平兩氏『富山縣に於ける橋梁の概要
等)

